

参加報告書

国際環境工学部 環境生命工学科 2年(参加時)

今回、私はオーストラリアのニューカッスル大学での語学研修に参加させていただきました。この留学は私にとって初めての海外渡航で、英語も得意な方ではないため渡航前は不安しかなかったのですが、毎日が充実していて本当にいい留学になったと感じています。今回の留学では、英語力の向上はもちろん、人脈を広げること、また環境について日ごろ学んでいるためオーストラリアの自然にたくさん触れることを目標としていました。

まず、授業では私は一番レベルの低いクラスに分けられました。授業の内容としては、かなり初歩的なものでした。今回の留学での最も大きな後悔はこのことだと思います。できればもう一つ上のクラスでよりレベルの高い学びを得たかったので、留学前の英語への取り組み方を反省しました。しかし、このクラスでも様々なことを学ぶことができたので、満足しています。中国人やサウジアラビア人、カンボジア人など多くの国籍の違う人たちと友達になることができ、授業だけではなく休み時間なども常に会話をしたことが、英語力が伸びた一番の要因かなと思います。特に、サウジアラビア人との会話が印象的で、language centerでの研修を終えた後、看護や放射線などそれぞれの専門分野をさらに学ぶという志の高い人たちだったので、いい刺激を受けました。

また、人脈を広げたいということで授業以外でもたくさんの人と話しました。2週目には新入生を歓迎する学祭が3日間行われ、そこで用意されていたフットサルコートで初対面の人たちに混ざりサッカーをしたり、アームレスリングをしたりし、このイベントを通して多くの人と関わることができました。さらに、私は大学のジムに入会し、そこでもよく会う人たちとトレーニングの話が盛り上がり仲良くなれたので良かったです。他にも English Japanese Clubにも参加し、そこでも多くの人と交流できました。この研修期間に出会った人達の多くは、今でもSNSなどでつながっているので、このつながりをこれからも大切にしていきたいと思っています。

学外では、土日などの休みを使って、“迷ったらやる”をモットーに様々なことにチャレンジしました。まず、最もエキサイティングなイベントだったのはスカイダイビングです。これは、渡航前からやりたいと思っており、15000フィートの雲よりもさらに高いところからダイブしました。上から見るニューカッスルの景色はすごくきれいで、怖さを忘れるくらいの感動がありました。別の日には、授業前にサーフィンもしました。朝8時からのサーフィンのレッスンに申し込み、他の参加者とともにサーフィンを教えてもらいました。コーチにサポートしてもらいながらですが、何度か波に乗ることができ、サーフィンの楽しさを知りました。でも、波を選ぶことやボードに立つタイミングが難しかったです。イギリスから旅行で来ている参加者とも、仲良くなれました。また、ニューカッスル港でのカヤッキングにも申し込み、参加してきました。ニューカッスル港をカヤックで回りながら、ニューカッスルの歴史などをインストラクターの方が教えてくれました。ニューカッスルはかつて炭鉱で栄え、この港から日本などの国々に輸出をしていて、今は小麦を世界に向けて輸出しているそうです。しかし、この説明が私の英語力ではすべてを理解することができず、自分の英語力のなさを

痛感した瞬間でもありました。

さらに、オーストラリアの自然に触れたいということで、私はニューカッスルにある国立公園を3つめぐりました。Glenrock State Conservation Area は、かなり広大な面積の国立公園で公園内の植物や生物を管理していました。一般の人も気軽に足を運べるように、ウォーキングコースやサイクリングコースが整備されていたのが印象的でした。Shortland Wetlands Area では、スタッフに公園の詳細を聞くことができました。ここは人口的に池を作ったり、植林をしたりしたことで、生態系が時間をかけてできていき、今となっては様々な鳥や昆虫などが住み着くようになったそうです。この公園の管理はボランティアの人だけで行っていると聞いて、オーストラリアの自然に対する意識の高さを感じました。最後に行った Blackbutt Reserve は私が最も気に入った場所で、コアラなどオーストラリアの固有種が数多く保護されており、それらを見ることができます。ここは人も少なく、落ち着いた場所なのでニューカッスルに行く方にはぜひ行ってもらいたいと思います。

そしてホームステイに関しては、ホストファミリーに本当によくしてもらい、楽しいばかりのホームステイでした。ホストマザーやファザーと日本や自分の地元について話したり、オーストラリアについて聞いたりしっかりとコミュニケーションが取れたので良かったです。また、ホストファミリーはインドネシア出身で、インドネシア料理も作ってくれ、インドネシアについても話してくれました。特に仲良くなったのは双子の男の子たちです。年が私の弟と同じだったこともあり、自分の弟のような感覚ですぐに打ち解けることができました。筋トレやアニメ、スポーツの話などをよくしており、会話の中で私が理解できてない文や単語は詳しく説明してくれました。最終日には、彼らがバスケットボールしにつれて行ってくれ、一緒にプレーすることができたことが、個人的にはうれしかったです。

今回の語学研修で多くの人と出会い、様々な貴重な経験ができました。その中で私が感じたことは、日本人はもっと世界に目を向けるべきだということです。オーストラリアでは本当に多くの国籍の人が見受けられました。ニューカッスル大学にも世界中から医学や看護学、経済学などの学問を学びに来ていました。Language Center で英語を学んでいる人達もほとんどが英語を習得後、他の学部に進むと言っていました。留学で英語だけを学んで帰るのはおそらく日本人留学生だけだったと思います。日本人の多くは日本の大学に通って、日本で就職というのが当たり前だと感じていると思います。私も海外の大学への進学や海外での就職は考えたこともありませんでした。しかし、海外で学び海外で就職している人達を目の当たりにして、衝撃を受けたとともに、自分も生活の拠点を国内に限る必要はないなと思いました。今後は海外でやりたいことを見つけた時に困らないように、英語の勉強は引き続きやっていきたいと思っています。また、世界とのつながりを持っておきたいので、オーストラリアで知り合った人たちとの関係を大切に、日本でも海外の方とつながりを持てるように努めていきます。今回の留学で身に着けた行動力で、今後もいろいろなことにチャレンジしていきたいと思っています。

